

岡村 世里奈

国際医療福祉大学 専任講師

高齢者介護分野における新たな規制のあり方に関する研究

現在、わが国の介護分野では、介護保険法に基づく指導監督体制に対して批判の声が相次いでいる。そこで本研究では、介護保険における適切な指導監督体制について検討を行うために、介護サービス事業者や行政機関における指導監督担当者に対してインタビュー調査を行うとともに、米国の OBRA ' 87 に基づく指導監督体制及び米国の近時の規制理論について研究を行った。

研究の結果、今後、介護保険において適切な指導監督を行っていくためには、書類確認中心主義の指導監督方法から観察中心主義の指導監督方法への速やかな移行とその対象範囲の拡大、都道府県や市町村の指導監督担当者の能力向上に向けた研修・監督体制の充実、介護サービス事業者の状況に応じた段階的な指導監督の実施、の3点が重要であることが分かった。